

# 保健システム強化に関する 取り組みの現状と問題点

2010年1月6日

JICAケニア事務所  
広域企画調査員 瀧澤郁雄

# 現状と問題点

- 小規模かつ多様な取り組み
  - － 地方保健サービス提供強化(ガーナ、ブルンジ)
  - － 地方保健行政強化(タンザニア、ケニア)
  - － 医療機材整備・保守管理(ウガンダ、マラウイ、エリトリア)
  - － 施設センサス・投資計画策定(マラウイ、ザンビア)
  - － 保健人材育成(仏語圏アフリカ)
  - － 5S/KAIZEN/TQM(AAKCP15カ国)
  - － 疾病対策を通じたシステム強化(タンザニア、ケニア)
- 経験の蓄積、方法論の確立の遅れ
- 案件形成の迷い

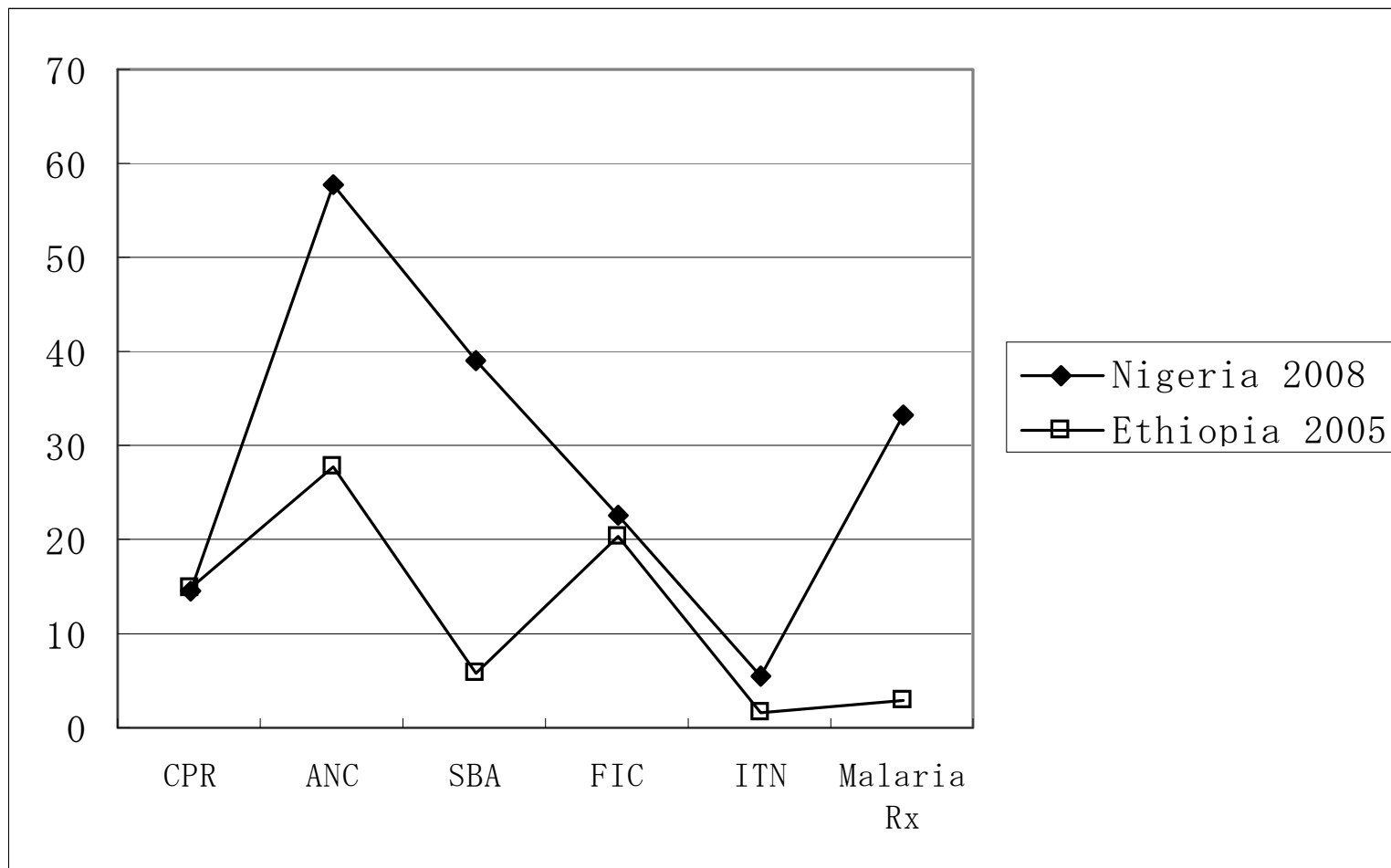
# 保健システムへの期待

- MDGsの達成
  - 妊産婦・子どもの健康改善、感染症の制圧
- ユニバーサル・カバレッジ／アクセスの実現
  - 格差(地域間・社会階層間)の是正
- 迅速なスケールアップ
  - 選択と集中(援助協調)、量の拡大
- 基盤の確保、ボトルネックの解消
  - (量の拡大を支える)保健システムの強化

課題1: 方向性(量の拡大と、質の確保・効率性の改善)

# 異なる課題

ナイジェリアとエチオピアの継続ケアの比較



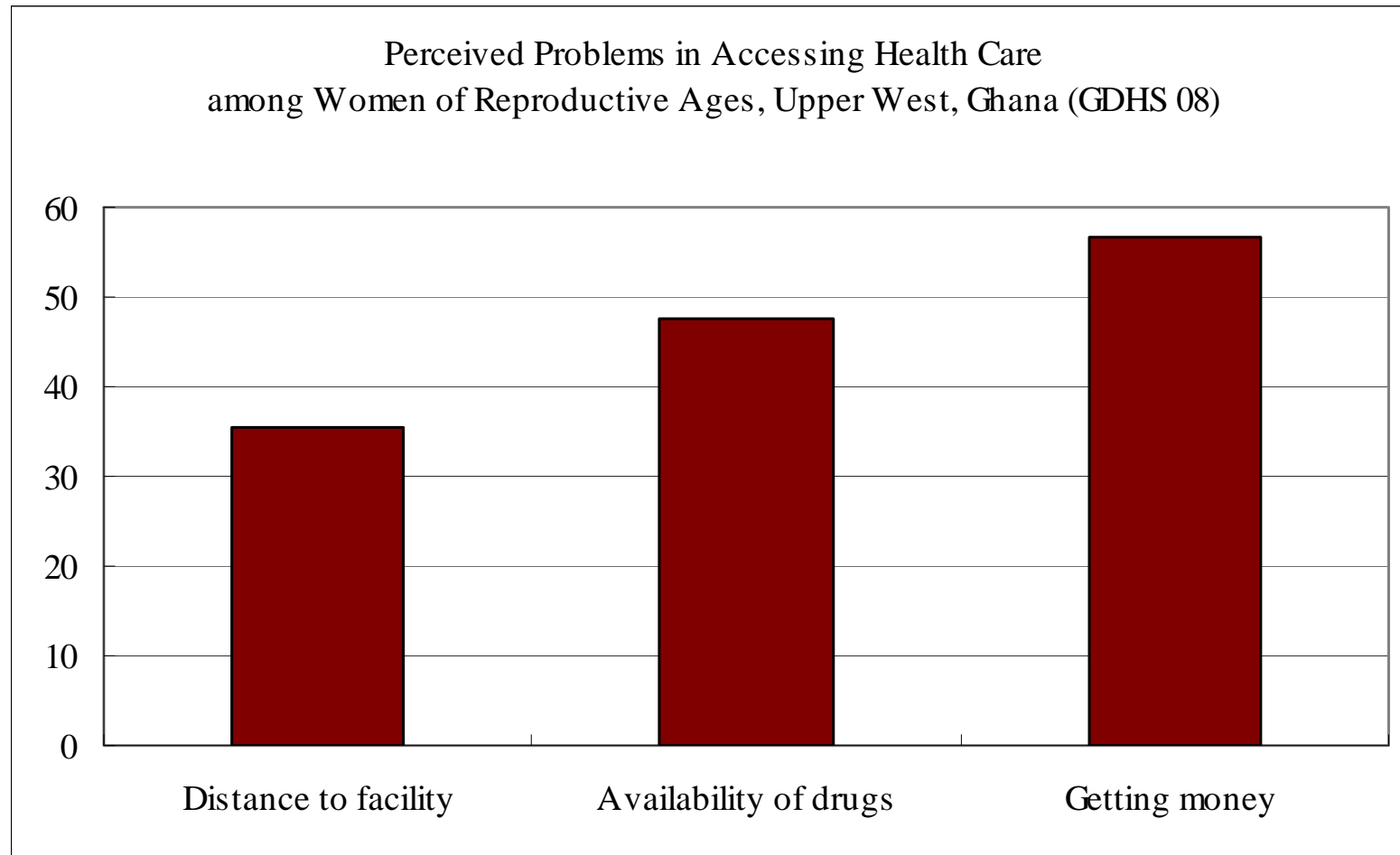
出所: NDHS2008, EDHS2005

# 異なる戦略

- アクセス改善のための戦略例
  - ガーナ: コミュニティに駐在する専門職 (CHN→CHO) によるアウトリーチ
  - ケニア: 専門職 (CHEW) の支援を得たコミュニティのボランティア (CORP) によるアウトリーチ

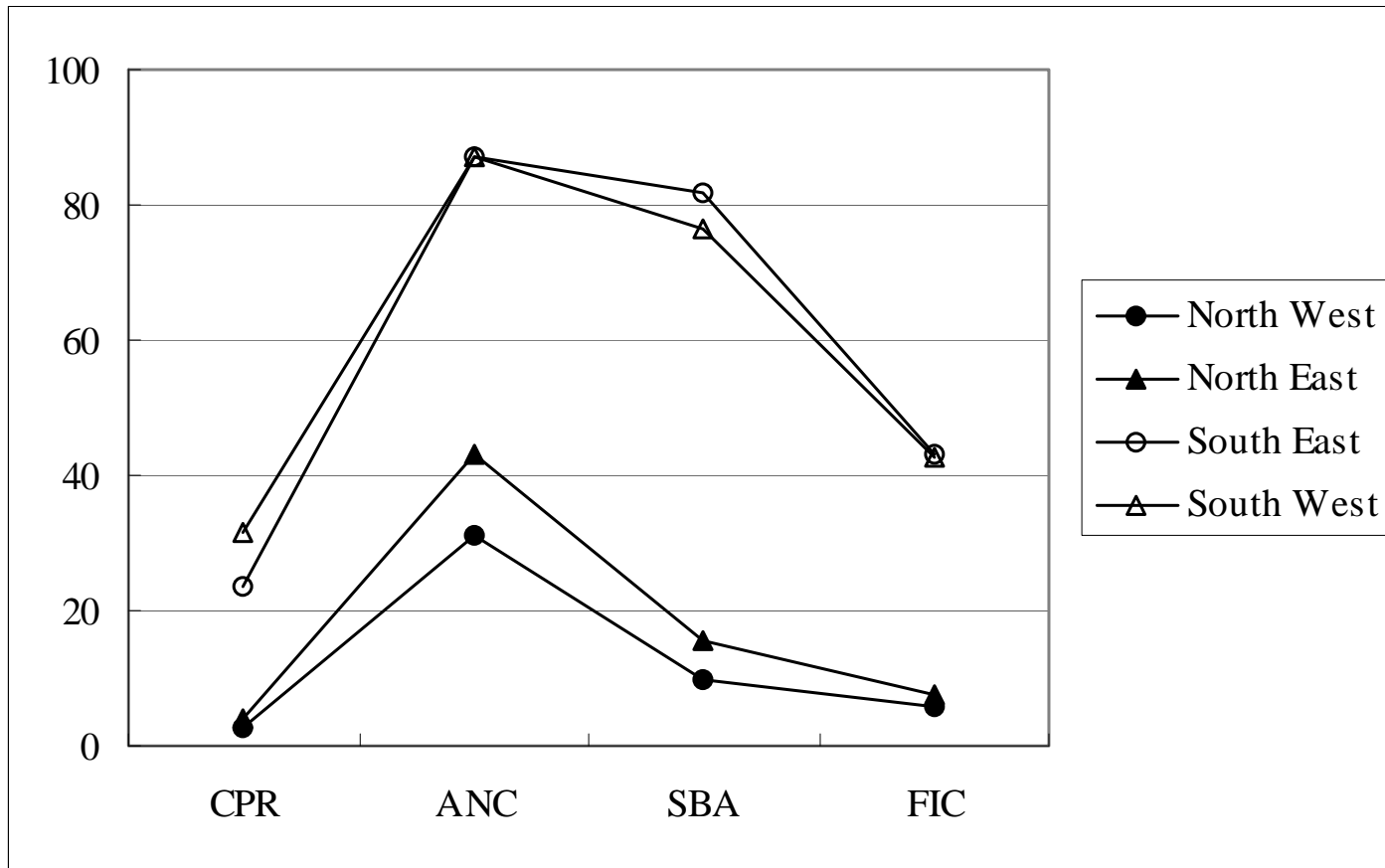
課題2: 保健システム分析(国別)の必要性

# 着眼点



# 実行可能性

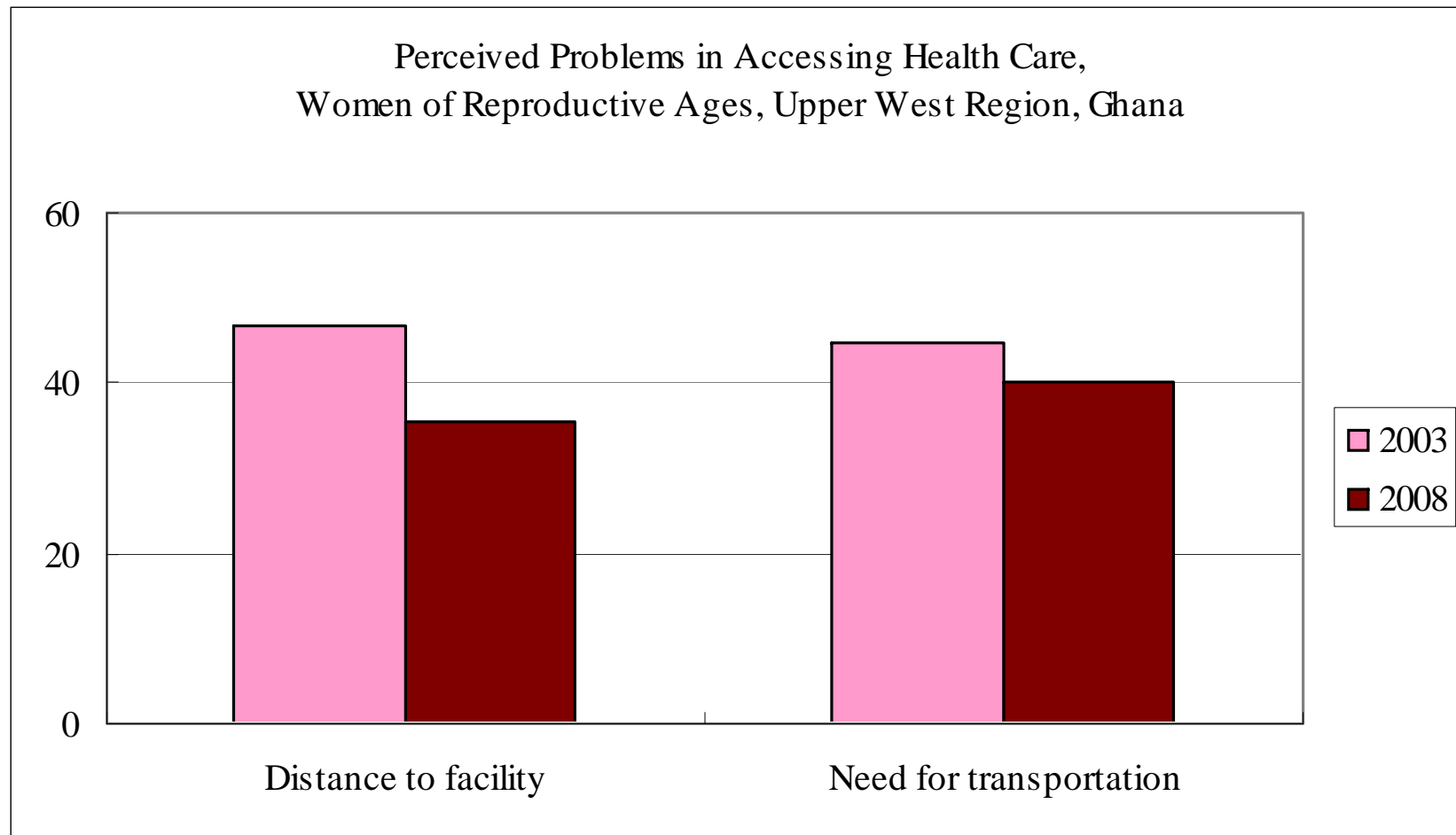
ナイジェリアにおける継続ケアの格差



出所: NDHS2008

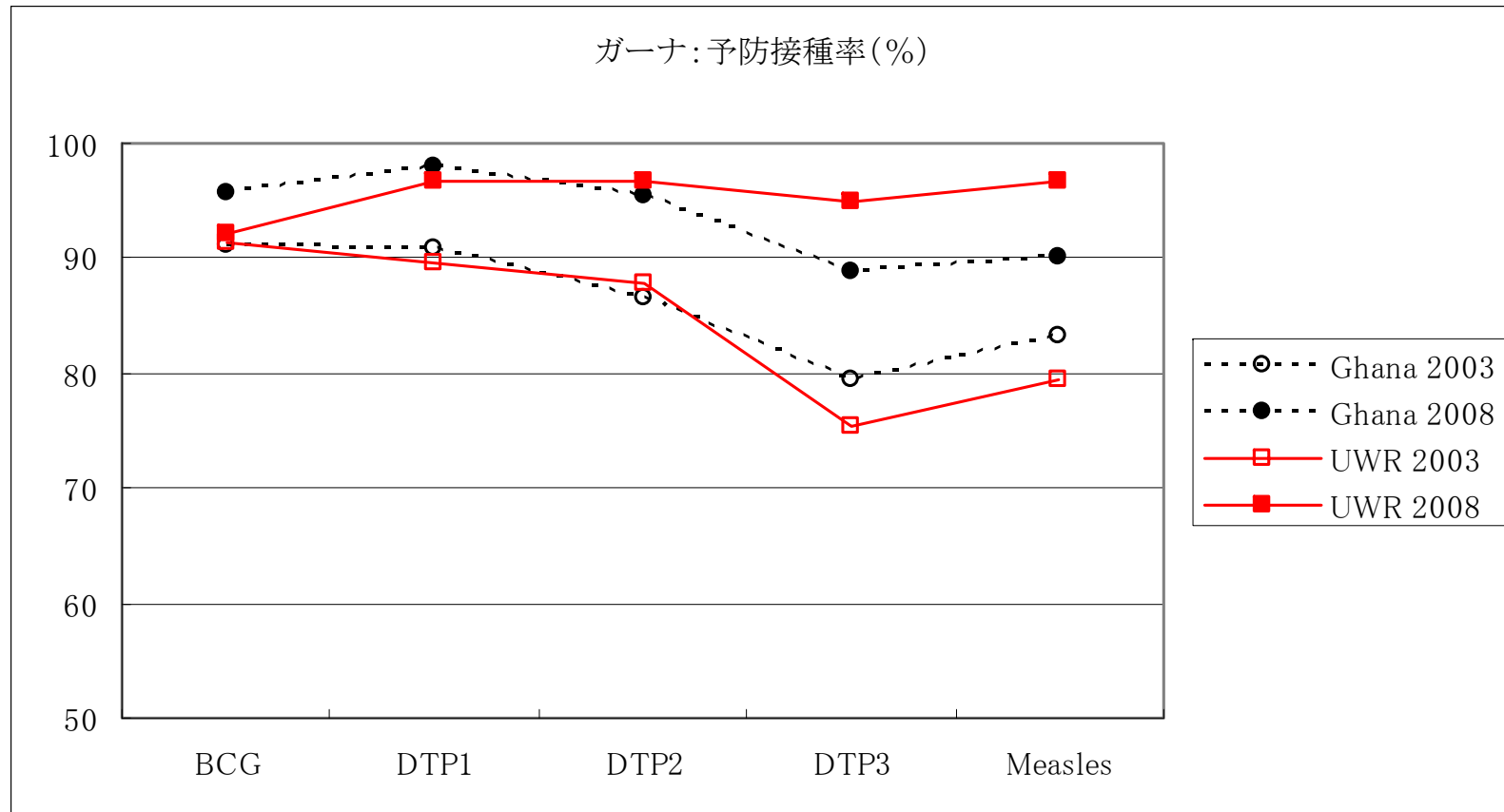
課題3: 日本側での優先付け

# モニタリング・評価



出所: GDHS2003&2008

# モニタリング・評価



出所: GDHS2003&2008

課題4: 効果の検証と発信

# その他

- 投入規模(プログラム管理)
  - 援助重点分野
- 政策対話、ドナー協調
  - ステークホルダー調整、合意形成
  - 国際資金の動き
  - 世銀JSDF、人間の安全保障基金、ユニセフ無償
- TICAD4横浜行動計画コミットメント
- 在外関係者間の情報交換

課題5: 在外における課題対応力

ありがとうございました。